

図1. 研究の全体像及び役割分担

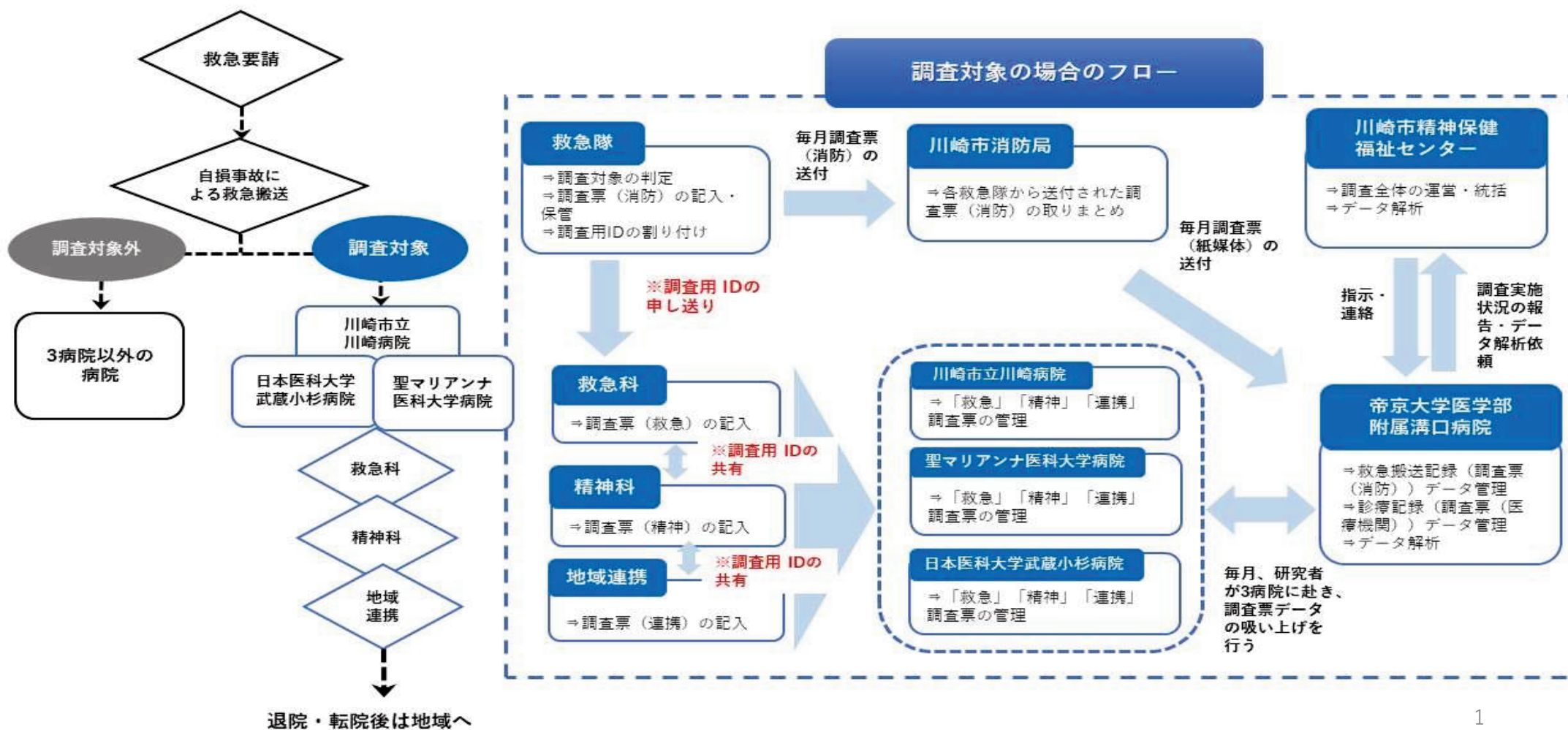


図2. 自損発生地区と患者の居住地区

居住地区	自損発生地区						
	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
川崎区	90	0	0	0	0	0	0
幸区	1	42	0	0	0	1	0
中原区	0	1	61	2	0	0	0
高津区	0	0	1	47	0	0	0
宮前区	0	0	0	2	53	0	0
多摩区	0	0	0	0	0	39	0
麻生区	0	0	0	0	0	1	33
川崎市外	10	2	2	1	0	3	1
不明	5	0	3	6	2	1	2
TOTAL	106	45	67	58	55	45	36

図3. 自損行為の発生地区と搬送先病院

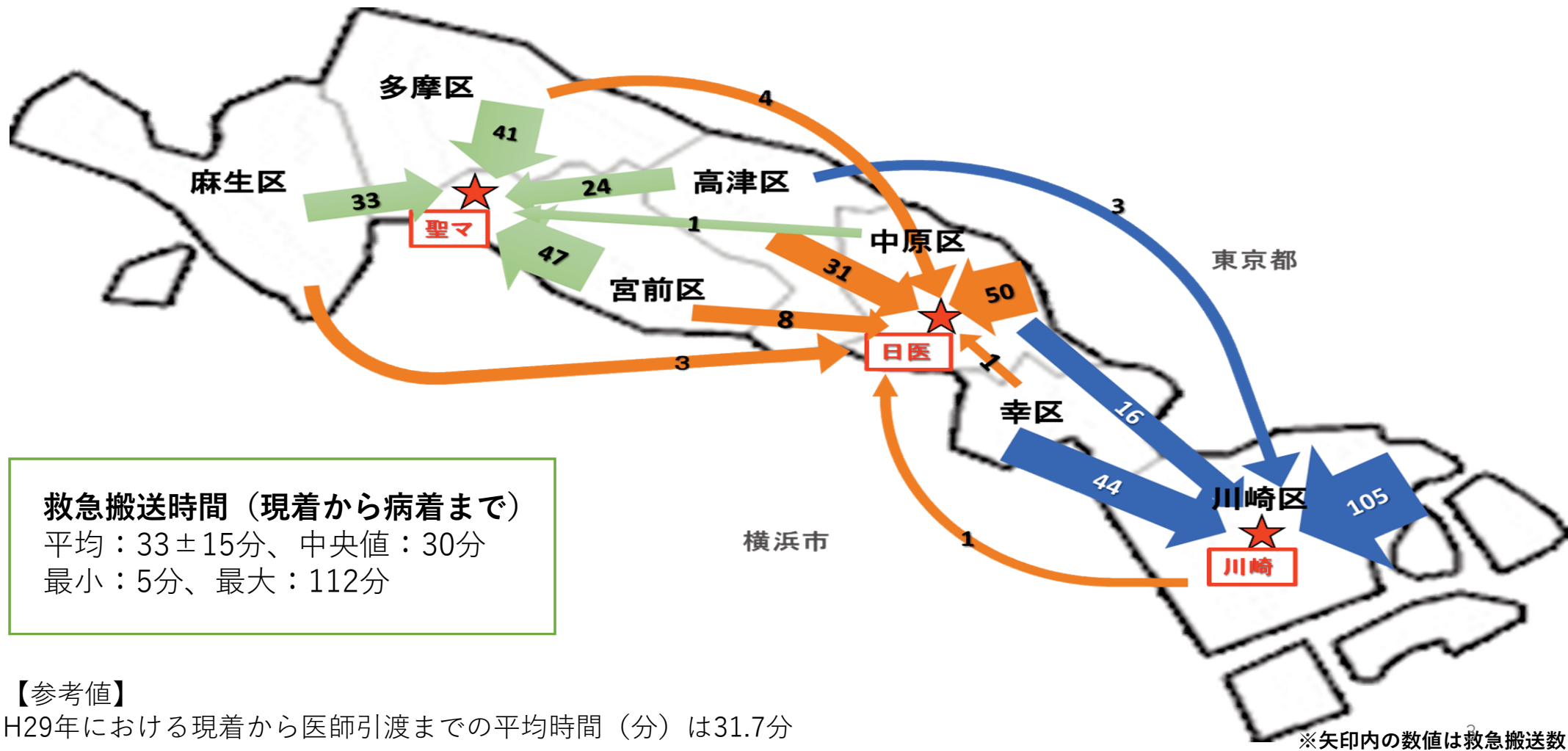


図4. 自損行為の発生場所

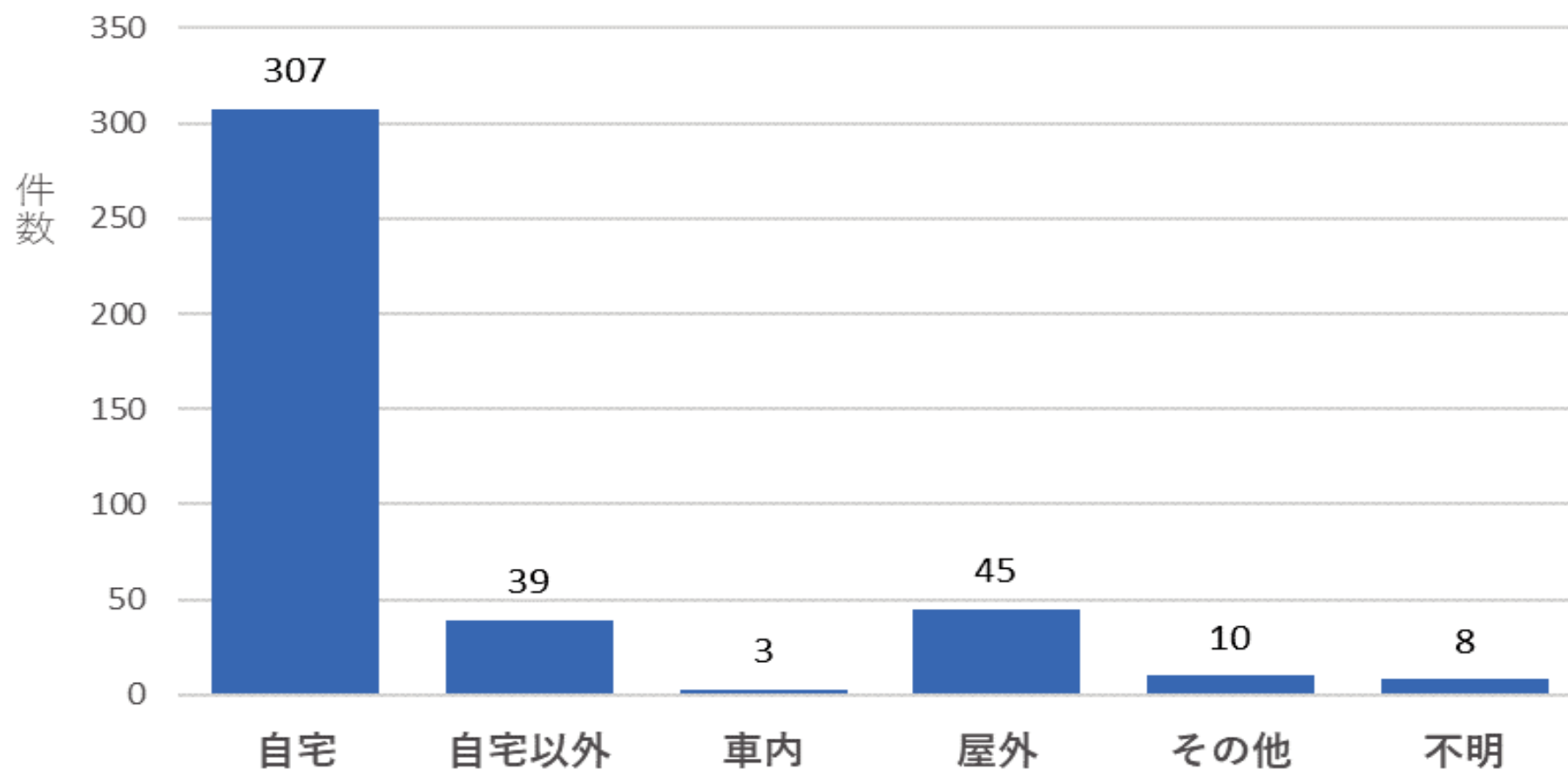
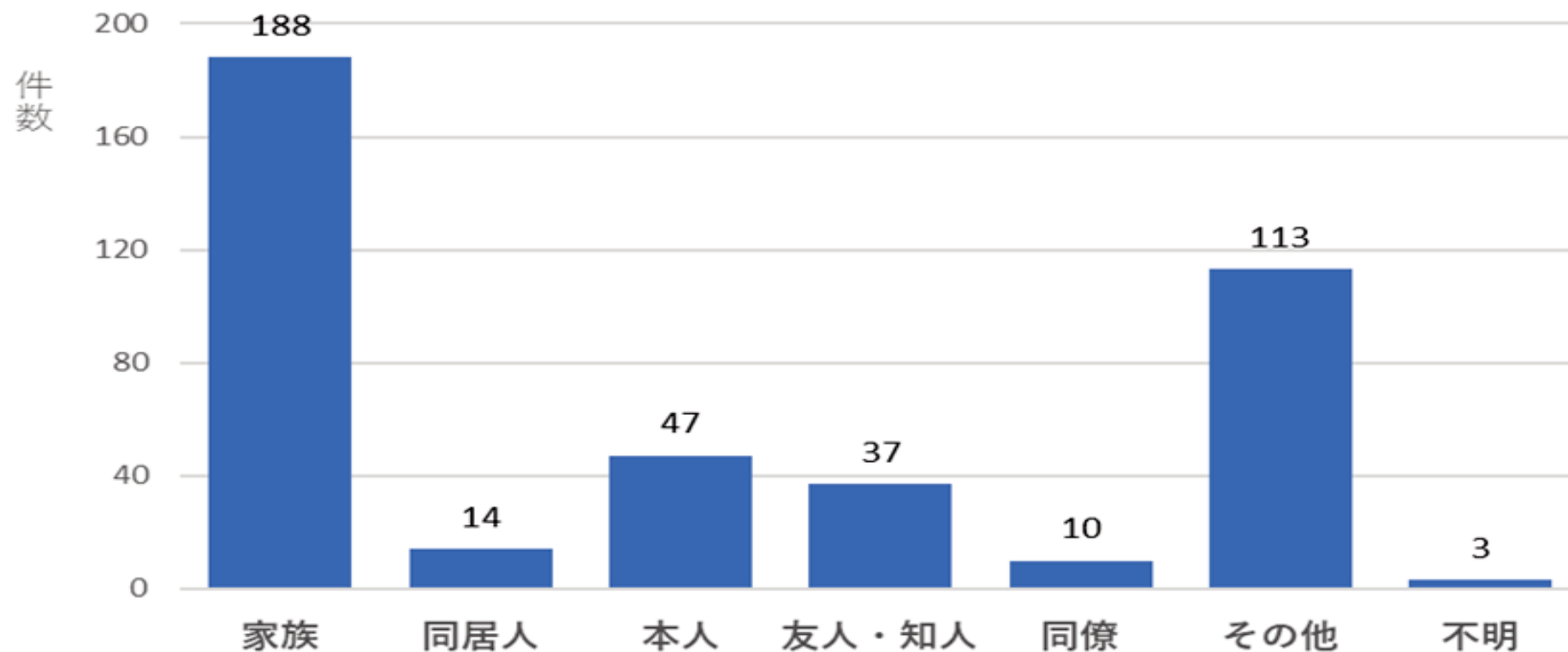


図5. 救急要請者・通報者



「その他」の内訳：警察（38件），発見者（42件），駅員・施設管理人（26件），区役所職員（5件），救助隊（1件），その他（1件）

図6. 性別、年齢階級別の人数

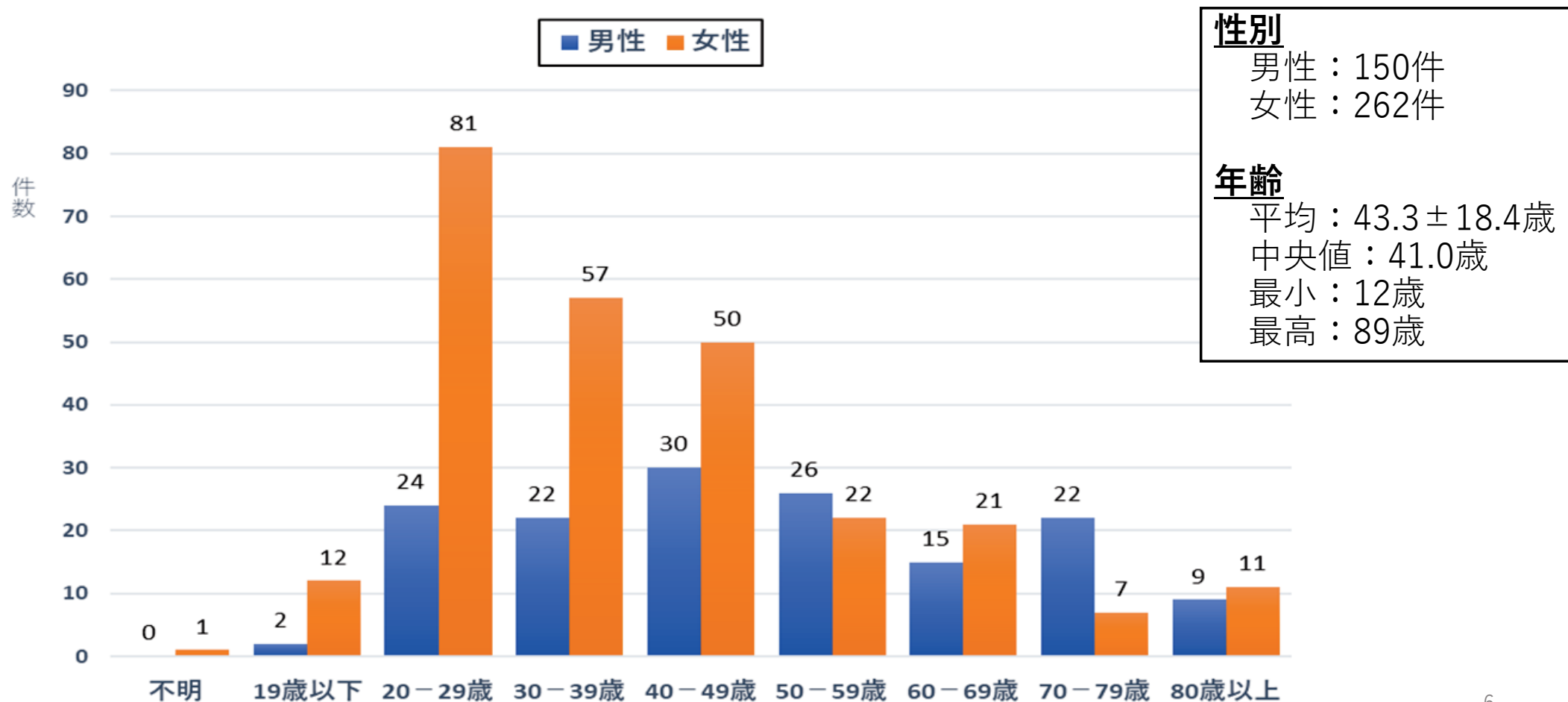
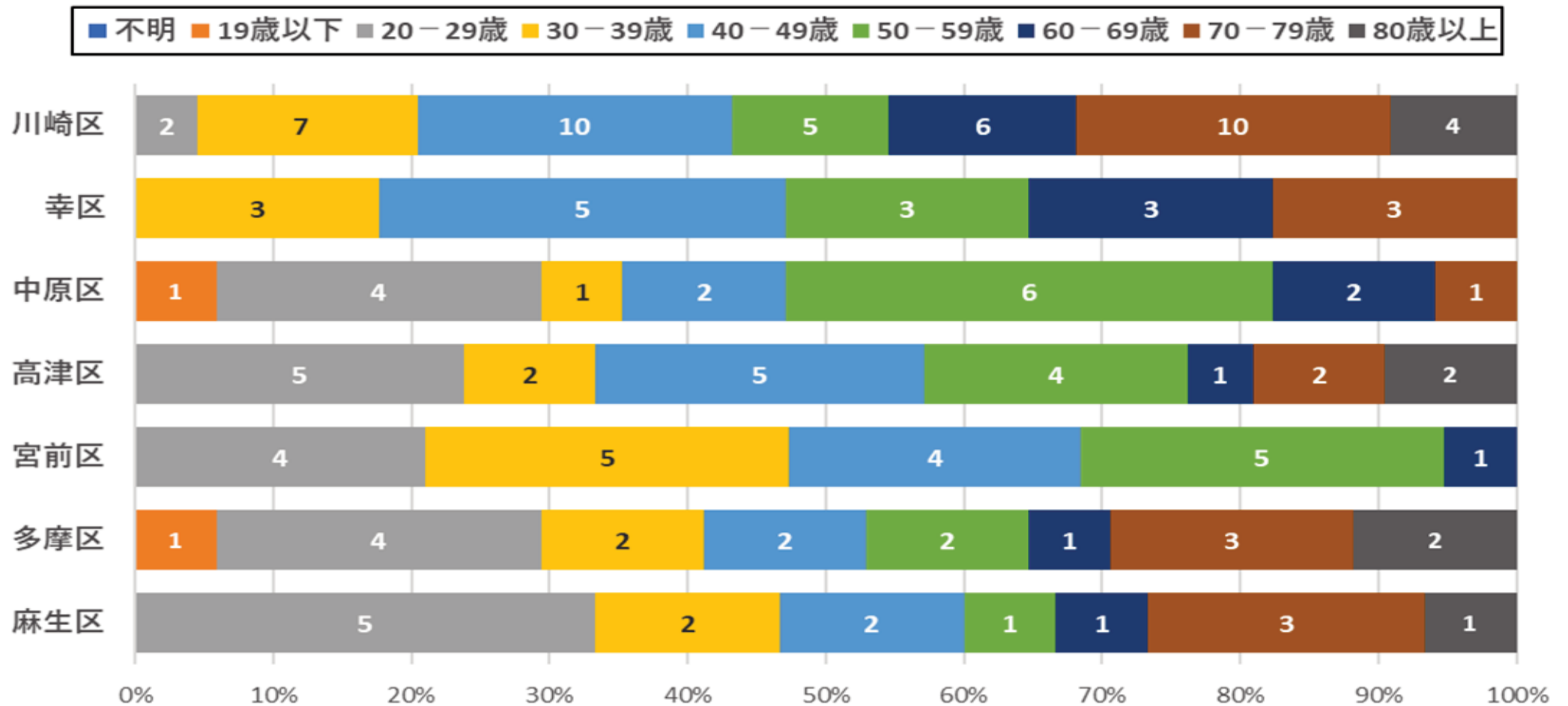
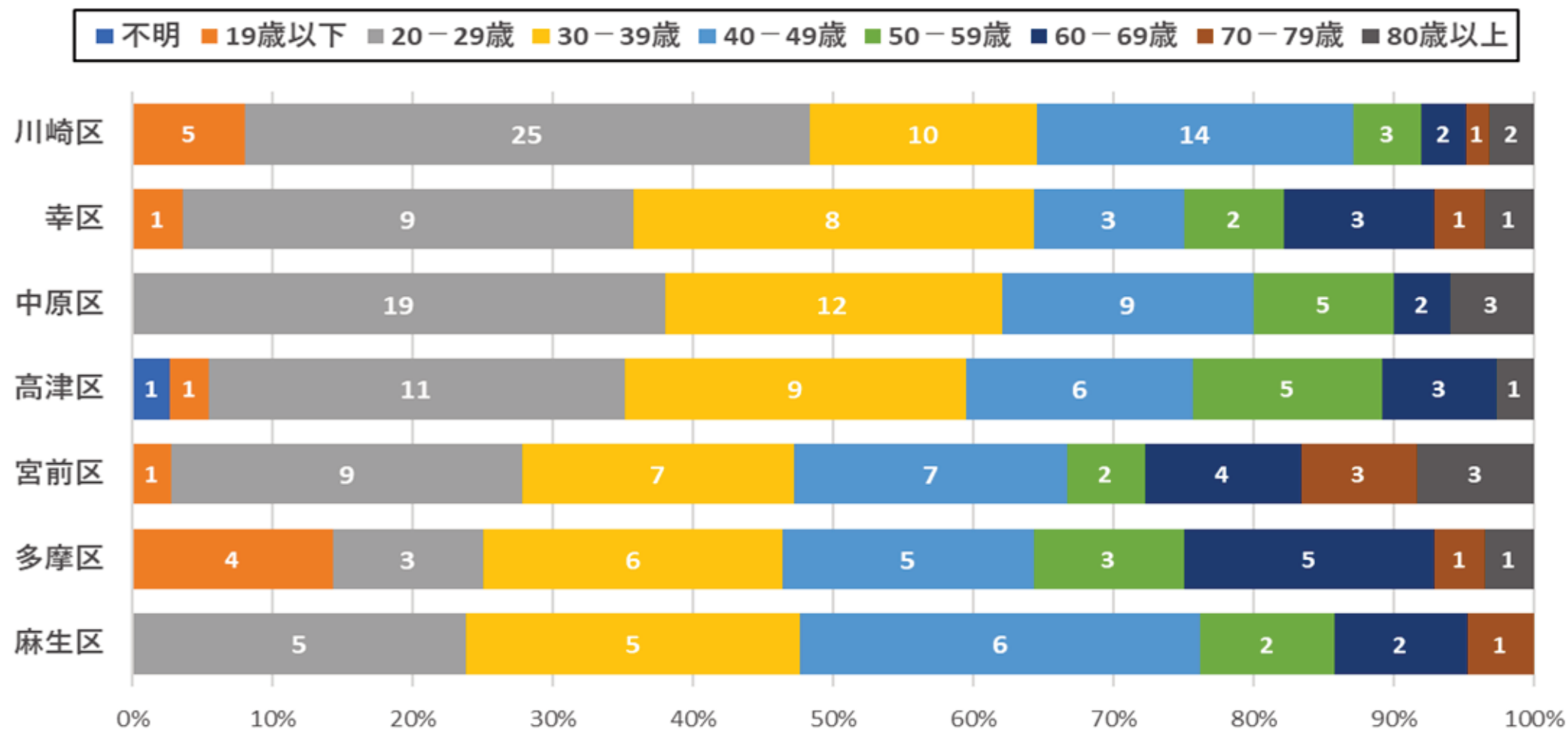


図7. 自損発生地区別の年齢階級の割合：男性（N=150）



※棒グラフ内の数値は「人数」

図8. 自損発生地区別の年齢階級の割合：女性（N=262）



※棒グラフ内の数値は「人数」

図9. 自損手段（延べ510件）

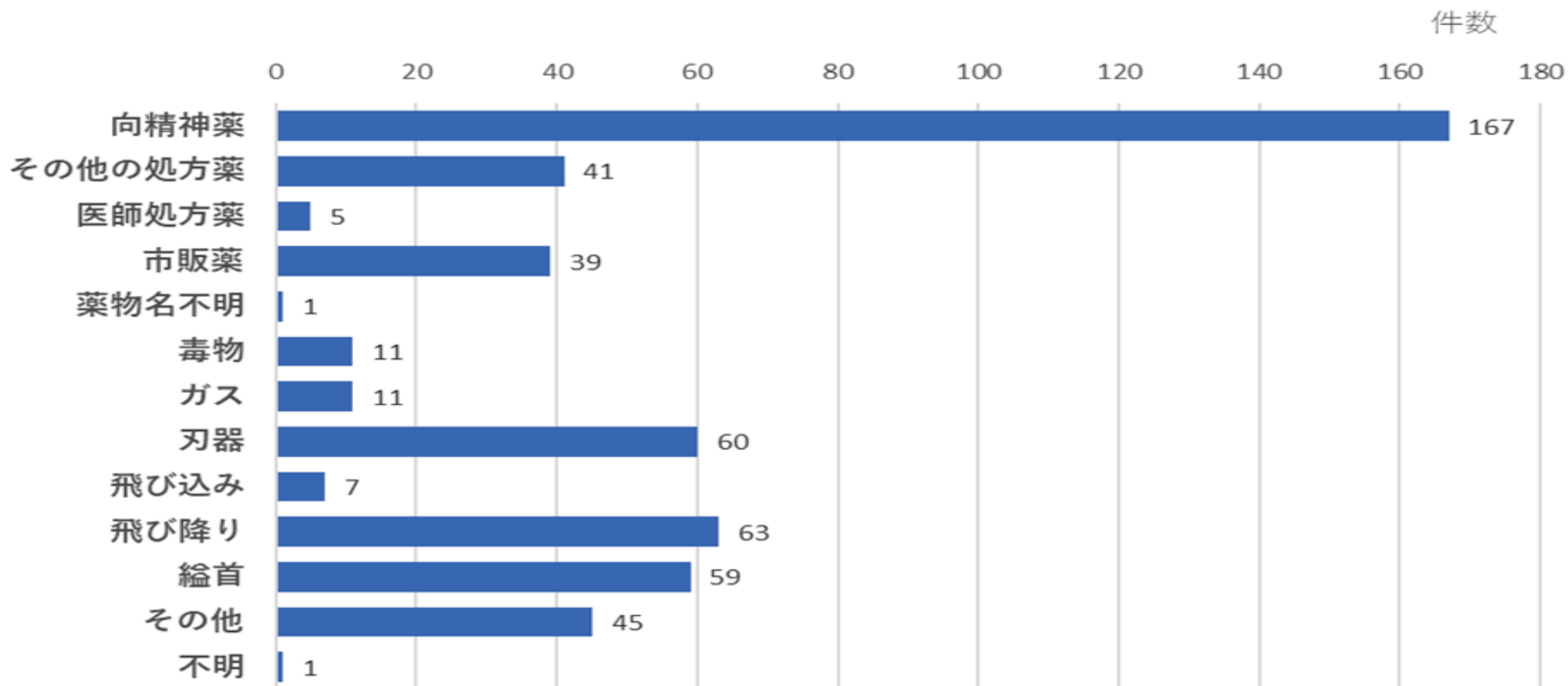


図10. 年齢階級別の自損手段

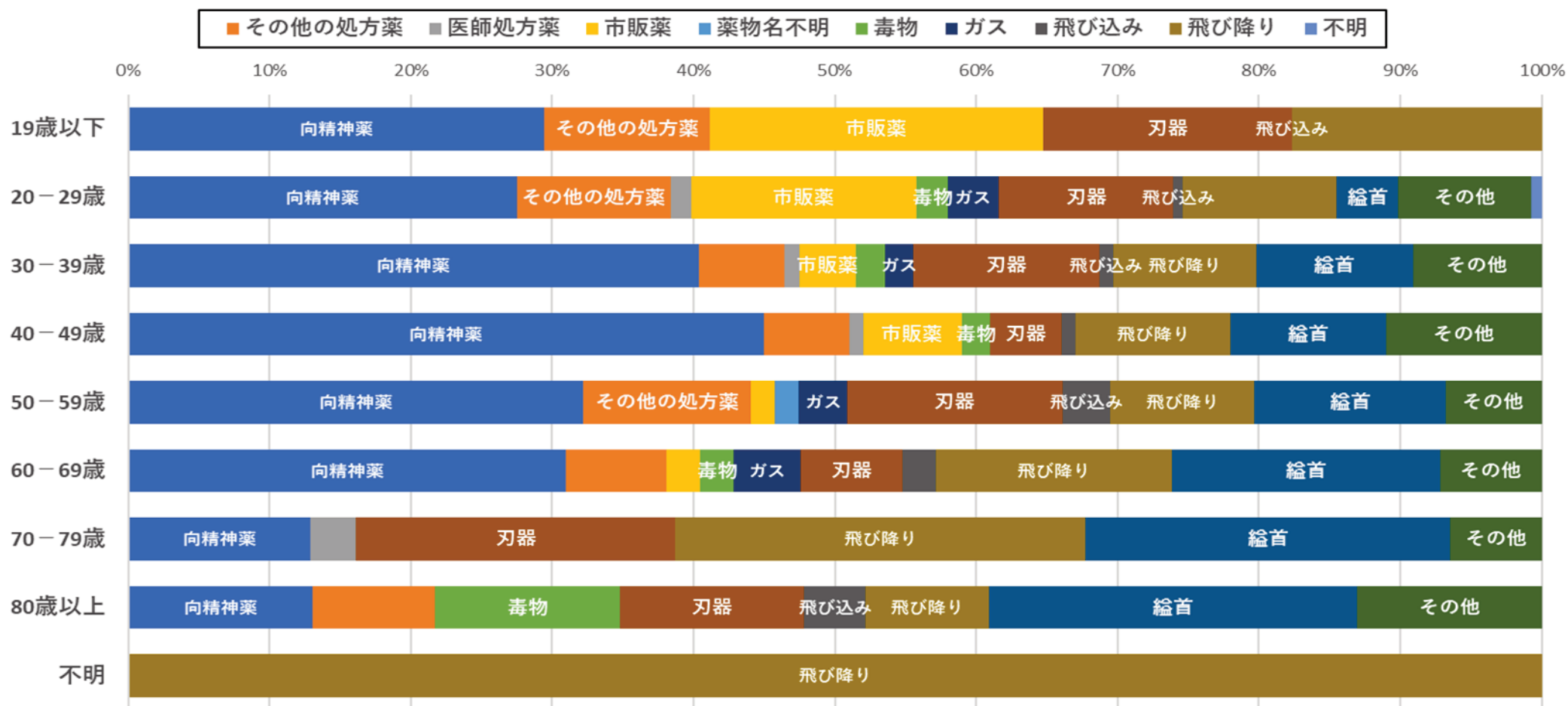


図11. 自損発生地区別の自損手段

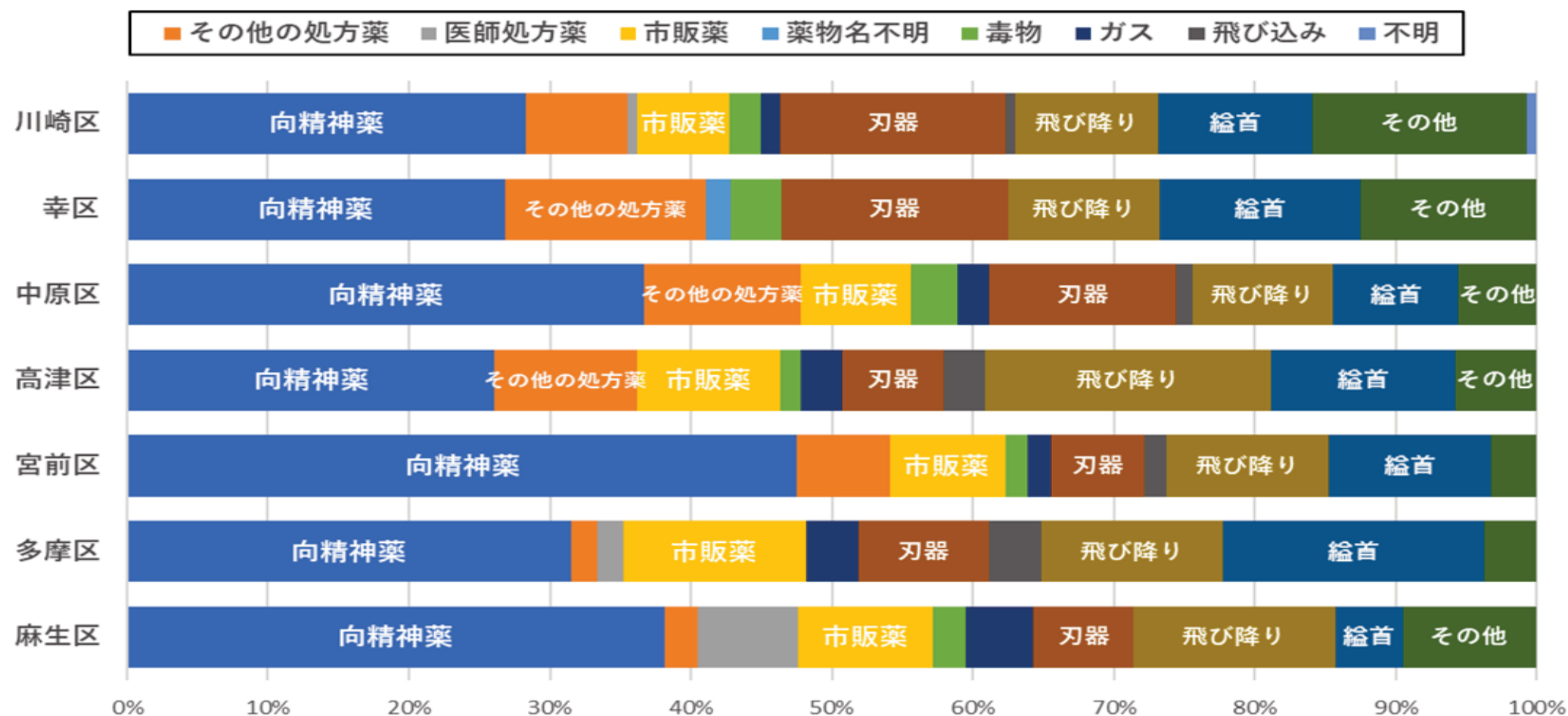
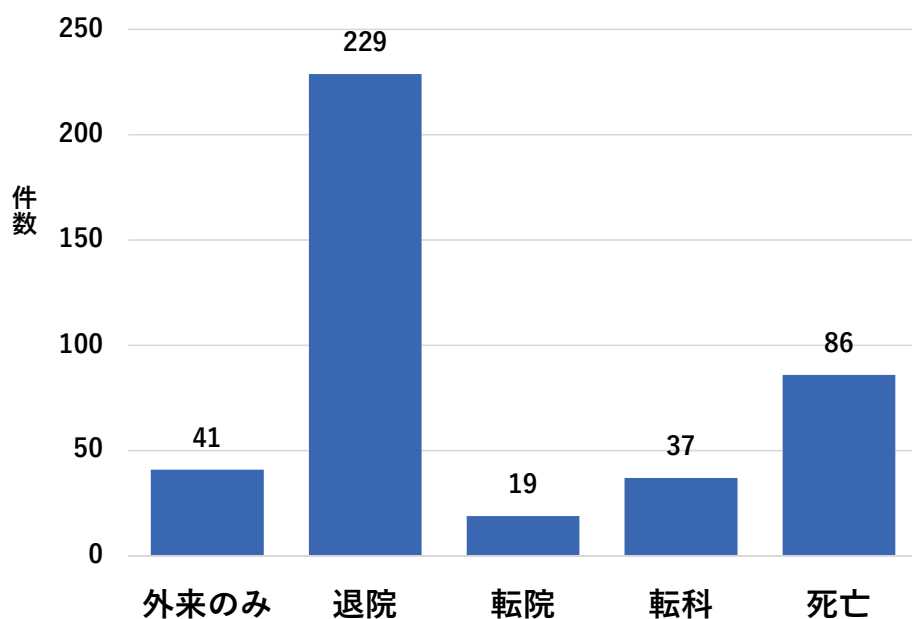


図12. 救急科での転帰・院内精神科による介入

救急科における転帰



救急科での院内精神科介入の有無

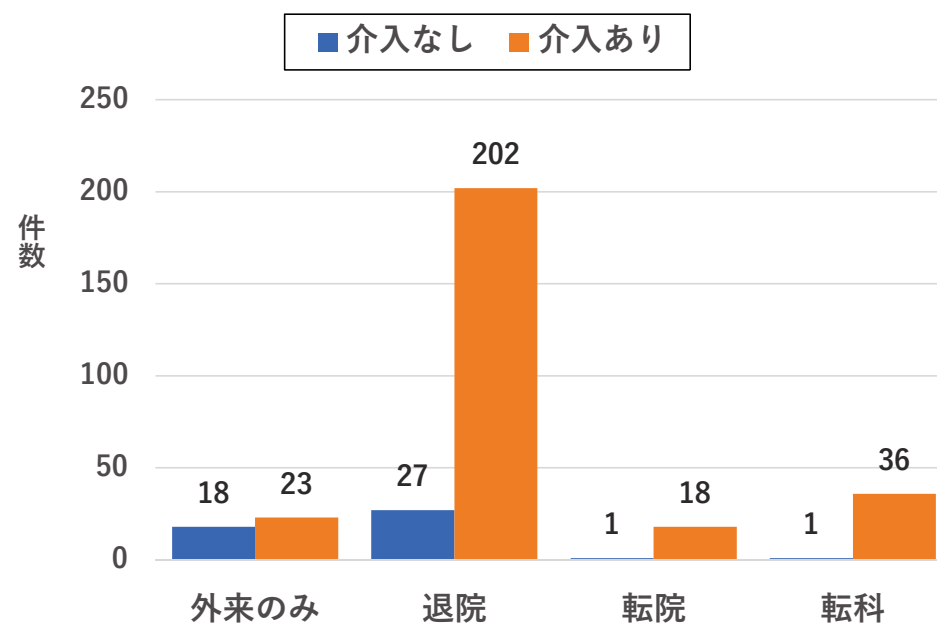
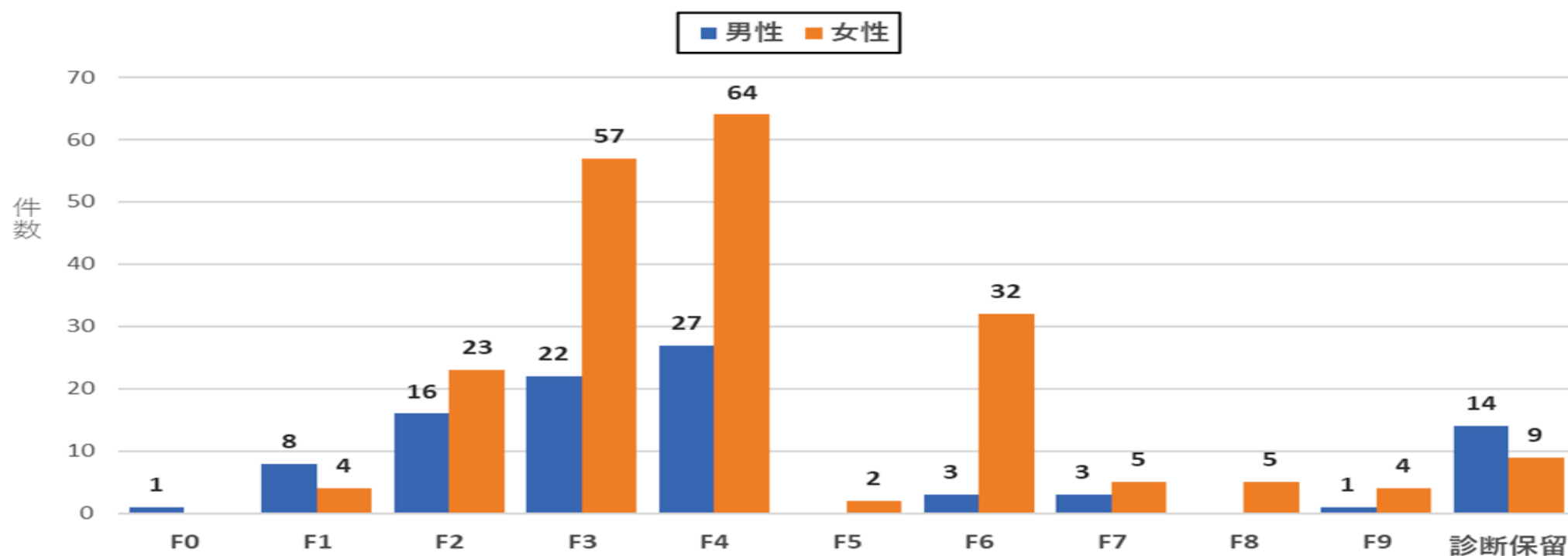


表1. 死亡事例の除いた自損患者の基本属性 (N=326)

	男性		女性		Test (df)	p
	Mean	N (%)	Mean	N (%)		
年齢	46.9		37.4		$z = 4.96$	<.01
婚姻状況 (N=283)					$\chi^2(5) = 8.94$	.11
既婚		29 (31.9)		59 (30.7)		
未婚		46 (50.5)		100 (52.1)		
離婚		11 (12.1)		25 (13.0)		
死別・その他		2 (2.2)		6 (3.1)		
不明		3 (3.3)		2 (1.0)		
主たる収入 (N=283)					$\chi^2(7) = 12.45$	.09
本人給与		41 (45.1)		64 (33.3)		
扶養		15 (16.5)		63 (32.8)		
老齢年金		6 (6.6)		7 (3.6)		
障害年金		2 (2.2)		4 (2.1)		
生活保護		20 (22.0)		33 (17.2)		
その他		2 (2.2)		5 (2.6)		
不明		5 (5.5)		18 (8.3)		
同居家族 (人) の有無 (N=283)					$\chi^2(2) = 1.72$	.42
なし		26 (28.6)		53 (27.6)		
あり		63 (69.2)		138 (71.9)		
不明		2 (2.2)		1 (0.5)		

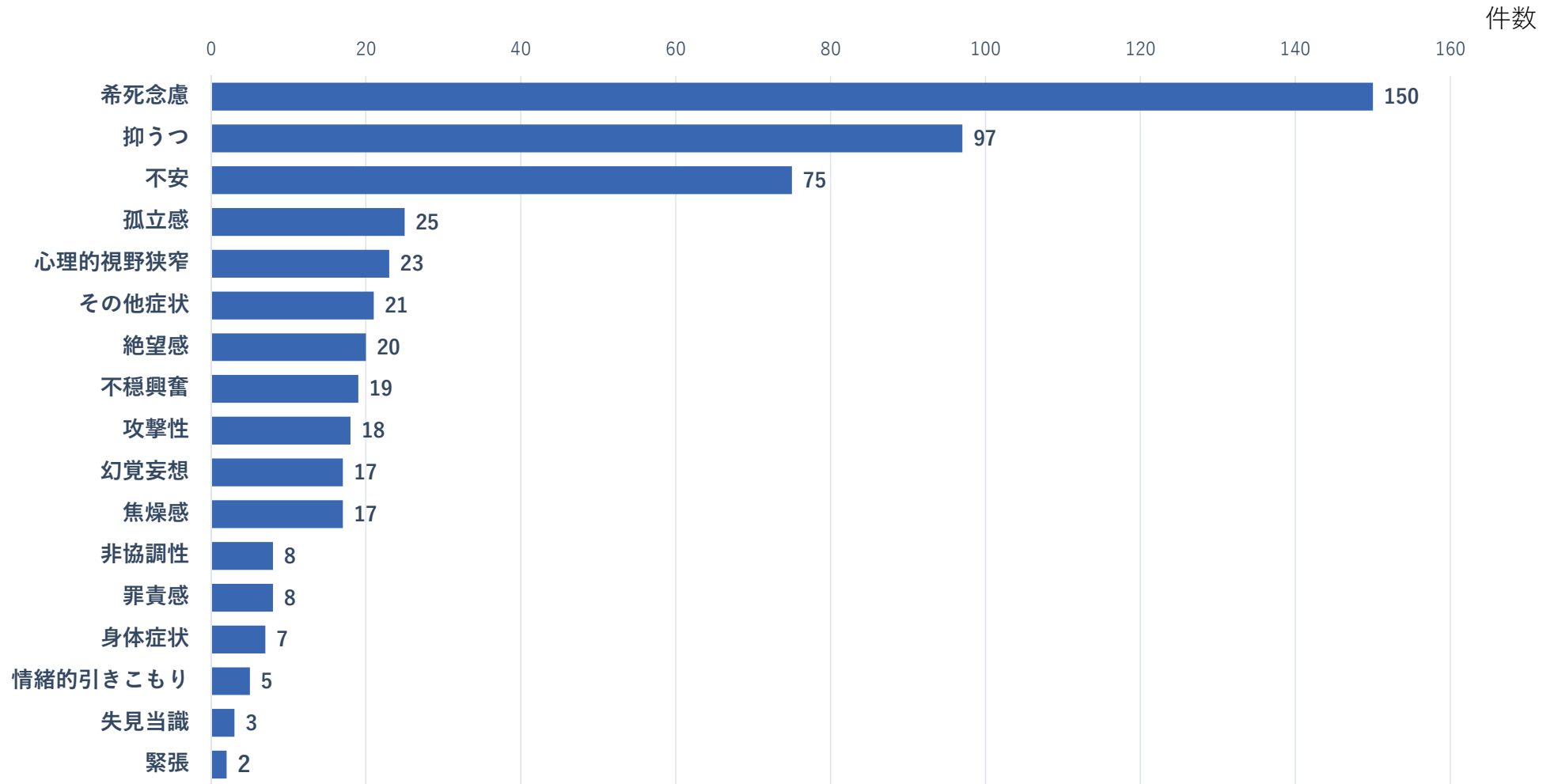
※43事例 (13.2%) が未回答であった

図13. 3病院における精神科診断（ICD-10）
（延べ300件）



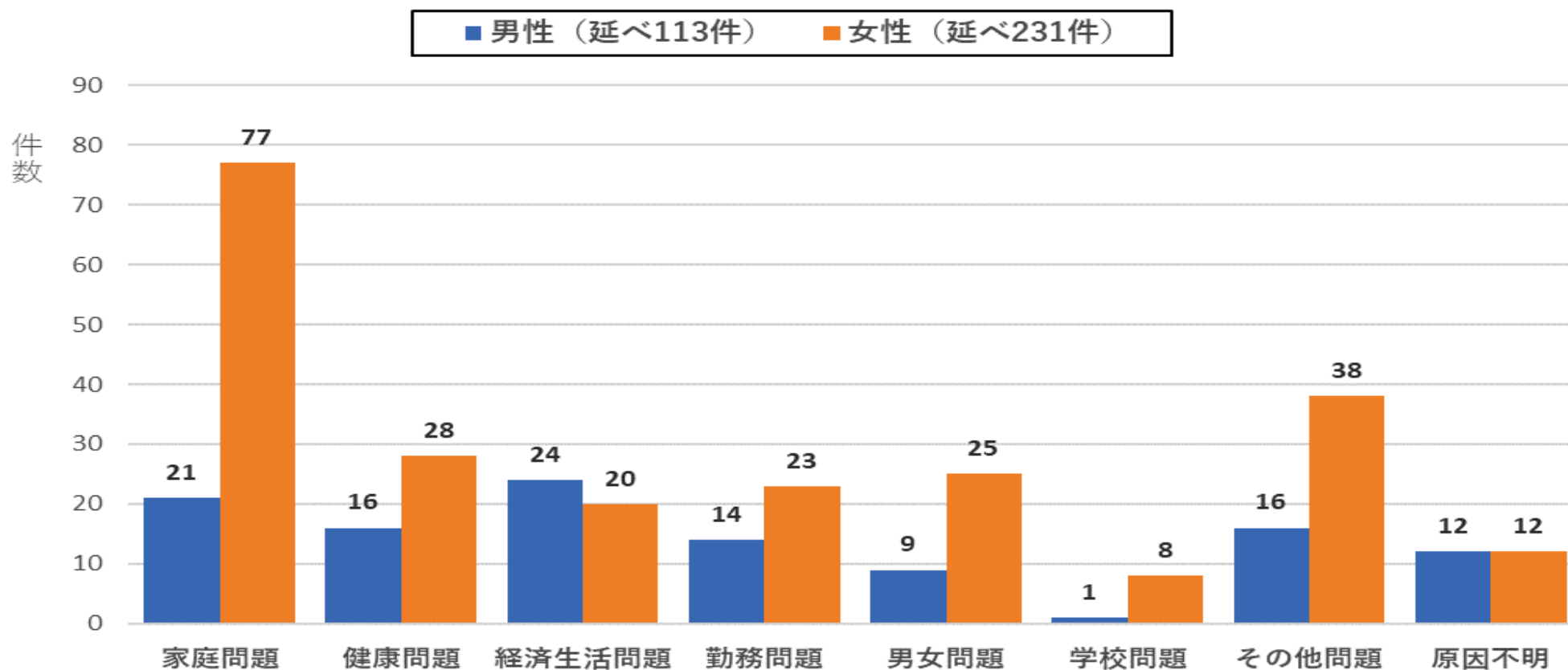
※45事例（13.8％）が未回答であった

図14. 精神症状・心理状態など（延べ515件）



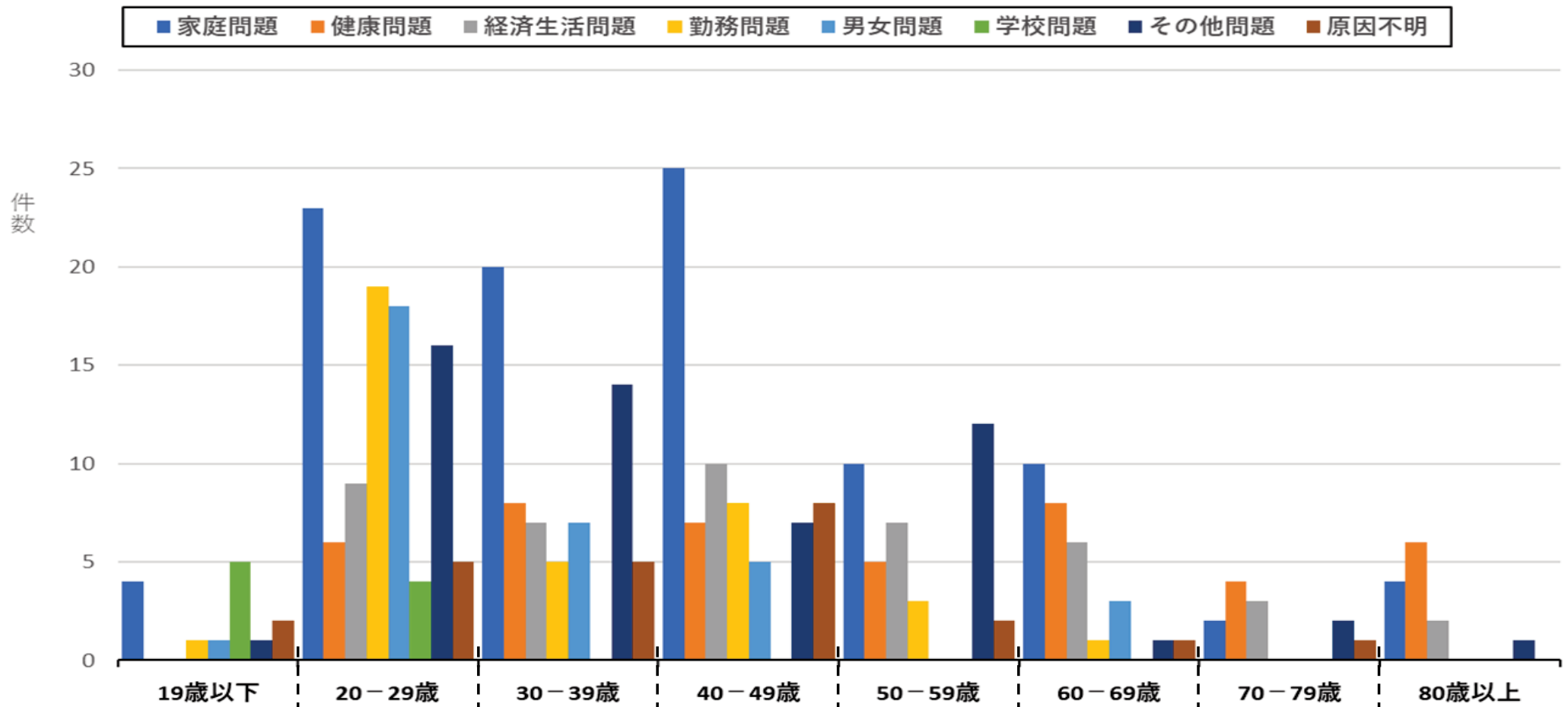
※58事例（17.8%）が未回答であった

図15. 自損行為の原因・動機（延べ344件）



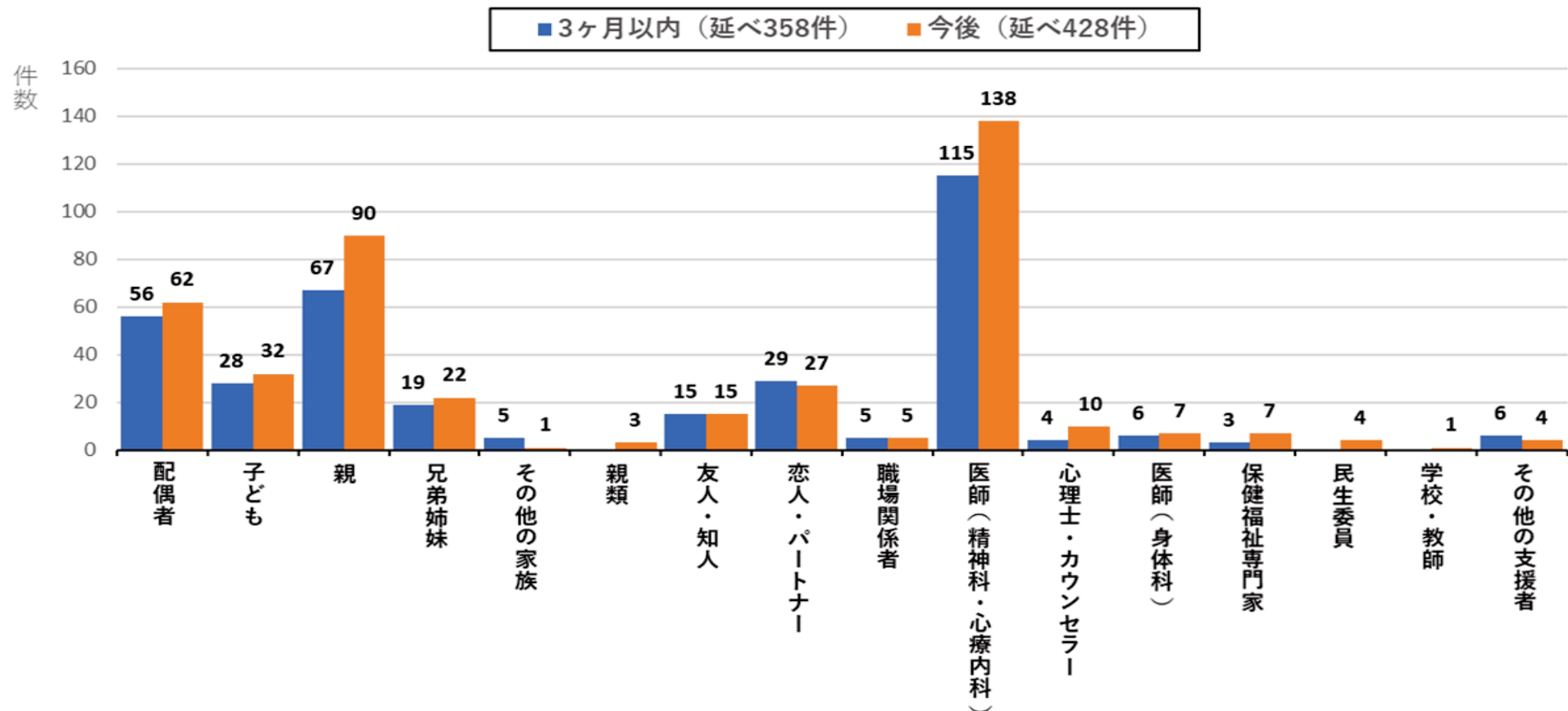
※44事例（13.5％）が未回答であった

図16. 年齢階級別の自損行為の原因・動機（延べ344件）



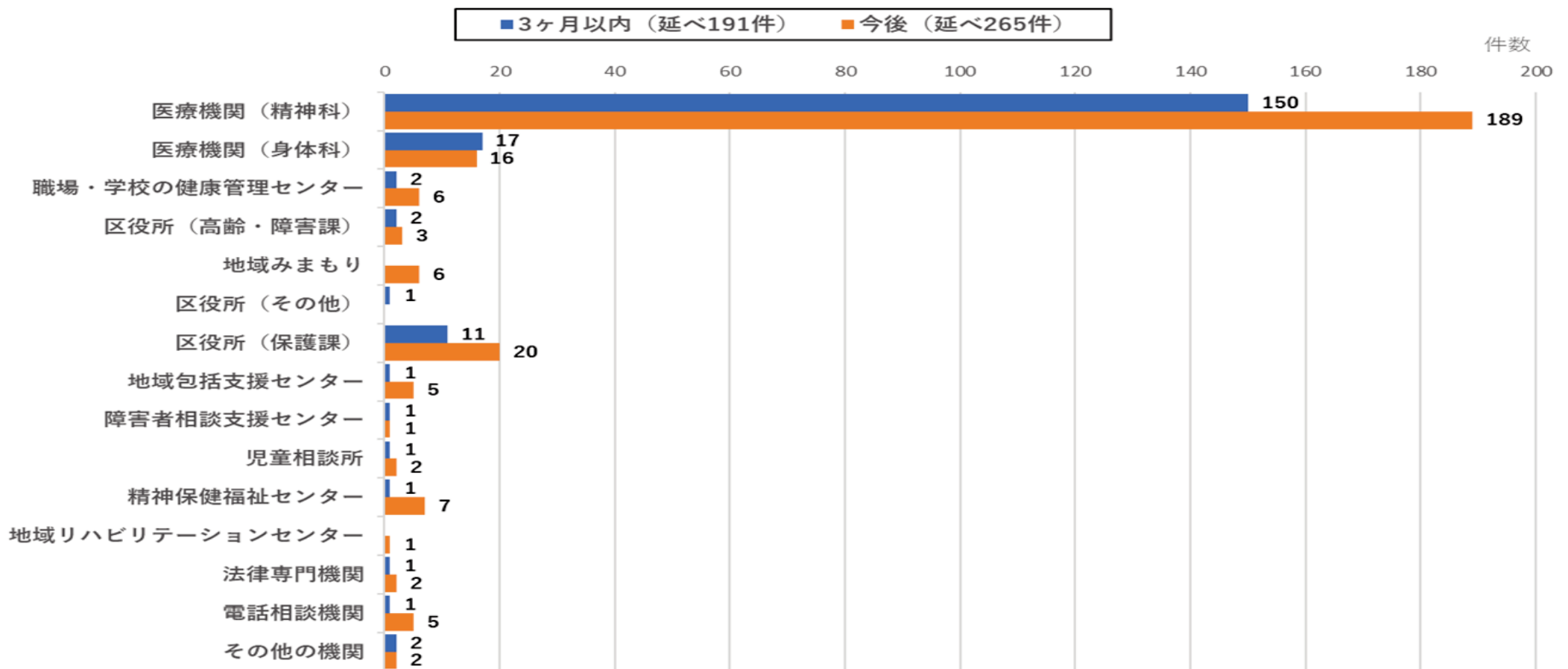
※44事例（13.5％）が未回答であった

図17. 過去3か月と今後のキーパーソンになりうる相談相手・支援者



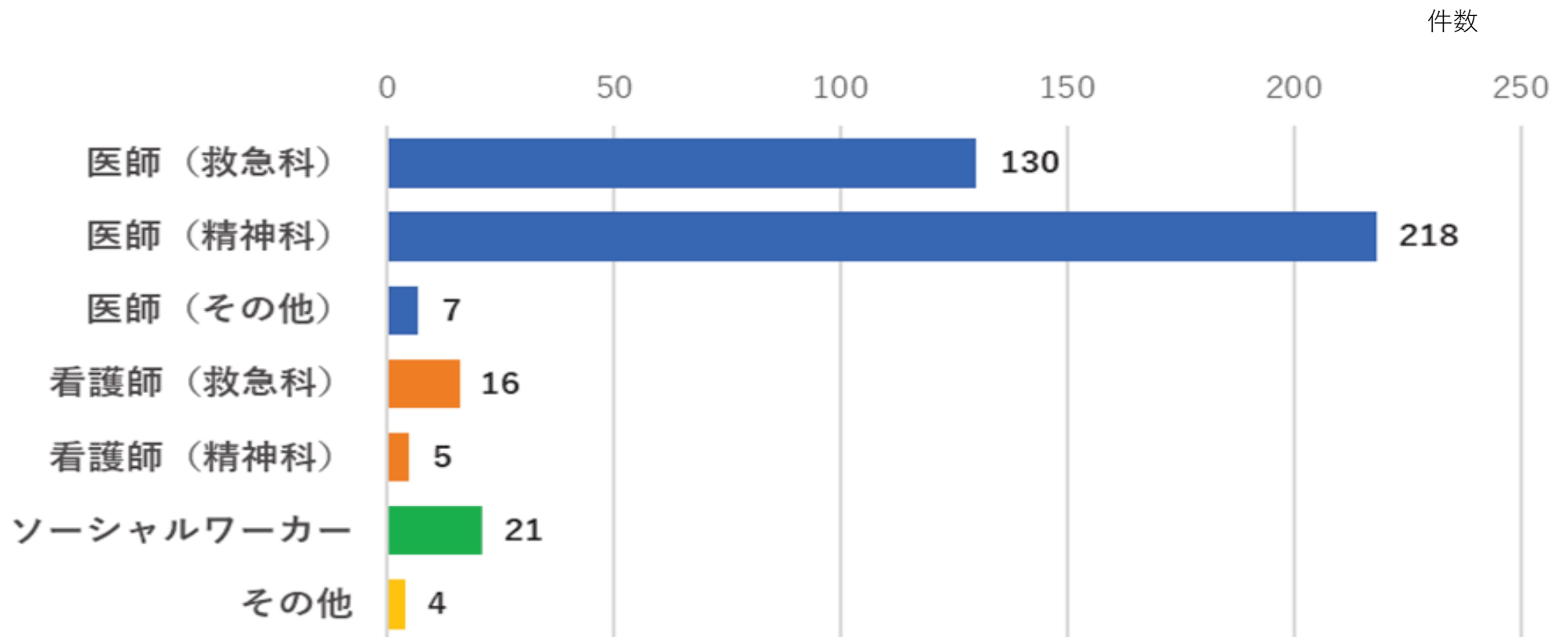
※「3ヶ月以内」では117事例（35.9％）が、「今後」では96事例（29.4％）がそれぞれ未回答であった

図18. 「過去3ヶ月に利用した」と「今後必要と考えられる」支援機関



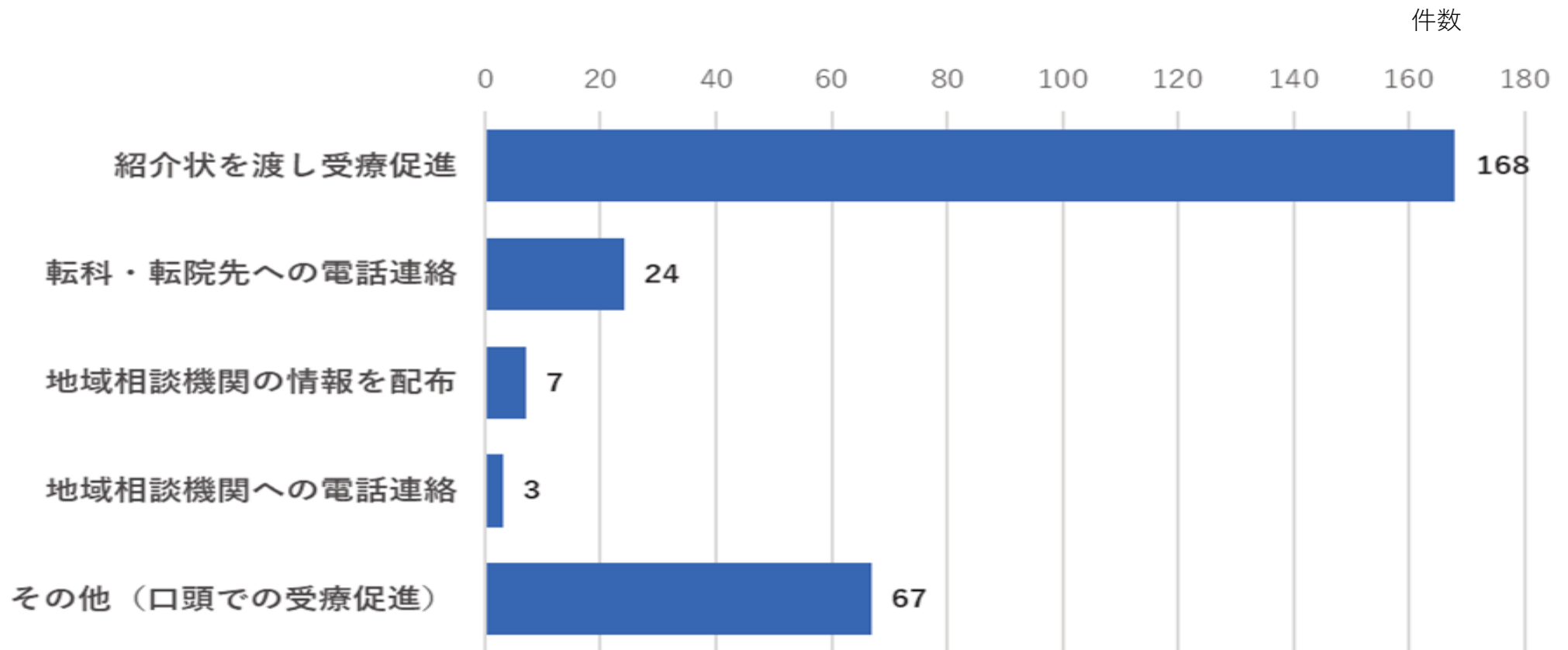
※「3ヶ月以内」では162事例（49.7%）が、「今後」では120事例（36.8%）がそれぞれ未回答であった

図19. つなぎを行った職種（延べ401件）



※59事例（18.1％）が未回答であった

図20. つなぎを行った方法（延べ269件）



※68事例（20.9％）が未回答であった